

首都大学東京 大学院 都市環境科学研究科 都市政策科学域

Tokyo Metropolitan University Graduate School of Urban Environmental Sciences Department of Urban Science and Policy

学外者対象の筆記試験免除制度あり

社会人特別選抜制度あり

文系・理系を超えた領域融合型

募集人員

博士前期課程: 15名

博士後期課程: 5名

入学試験

夏季試験 8月実施

冬季試験 2月実施

学域概要

○私たちの大学院は、現代の都市の複雑な問題に対し、都市政策科学の分野を体系的に習得・研究し、新たな価値を創造しようとする意欲のある学生と共に社会に貢献してゆきます。

○都市政策科学域はダイナミックな変化を遂げる現代の都市を総合的にとらえ、安全・安心・快適な都市のあり方を、空間・制度・社会など種々の面から解明・考究し、持続可能な都市づくりを実践できる人材を育成します。

○博士前期課程では、都市の各専門領域における深い専門知識と応用力を有する実務家・研究者を養成します。博士後期課程では、博士論文の指導を通じて、都市の各専門領域における高度な研究を遂行する能力を養い、自立した都市研究者や実務家を養成します。

○入学試験では、一般選抜入試に加えて、実務経験を基に研究をしようとする社会人学生を対象に「社会人特別入試」を実施します。また、仕事や育児・介護等をしながら研究を行おうとする学生は在学期間を延長する「長期履修制度」が利用できます。一方、一般・社会人に拘わらず、優れた研究業績を挙げた場合には「短縮修了」も可能となります。

○私たちの大学院は自治体や学外団体と連携した研究・教育、そして、協定を結んでいるアジアの大学との交流に力を入れています。交換留学制度を含め、大学院生には国際的に学び、活躍できる機会があります。

カリキュラムの特色

○現代の都市の現象を科学的に解析する技術や研究手法、各種の領域で展開される公共政策に関する理論的科目、さらには、都市政策を担う公的機関や民間事業者、NPO、地域コミュニティ組織などとの協働研究に基づく実践的な教育活動も提供されます。

○博士前期・後期課程に所属する全学生に対して各分野の専門家である全教員が指導を行う「都市科学セミナー」の開講など、分野横断的な研究指導が行われます。

○博士前期課程においては、最先端の研究を究めたい学生から、実践的な知識・能力を習得したい学生までの存在を考慮し、学位論文に代えて、特定の課題についての研究の成果を提出することによっても修了することができます。

主な博士前期課程の講義・演習

都市空間解析特論・演習
参加型デザイン実習
都市環境計画特論・演習
都市防災計画特論
都市政策法務演習
行動法と経済学演習
自治体行政学特論・演習
自治体環境行政法特論
都市コミュニティ特論・演習
社会調査法特論

都市空間論演習
参加型ワークショップ特論
都市環境経済学特論・演習
都市住居論
法と経済学特論
公共政策演習
財政学特論
都市社会論特論・演習
都市健康福祉論特論・演習
GIS特別演習



長野 基 (ながの もとぎ)

准教授・修士(政治学)

- 行政学
- 地方自治論
- ローカル・ガバナンス
- 質的研究方法論
- 都市制度論演習

E-mail: nagano@tmu.ac.jp

URL: <http://researchmap.jp/read0205195/>



市民参加型ワークショップ形式での自治体事業評価(さいたま市)

“地方自治における市民参加”を立脚点に、自治体計画づくりや事業評価における市民参加のあり方、“技術合理性と民主性”の接点である審議会や自治体議会の研究を行っています。

担当する「都市制度論演習」では、都市政治・行政の諸現象を分析する政治学における理論的枠組みを議論し、課題演習を通じてこれら枠組みを事例分析に応用する知見を培います。現代の都市を巡る理論・実態分析そして政策提案を“大学院生は共同研究者”の立場から共に学んでゆきたいと思います。



松井 望 (まつい のぞみ)

教授・修士(法学)

- 行政学
- 都市行政論
- 公務員制
- 自治体行政学特論
- 自治体行政学演習

E-mail: matsui-nozomi@tmu.ac.jp

URL: <https://sites.google.com/site/nozomimatsui/>



自治体行政の現場から問いを見つけ出します ~伝統的建造物群保存地区の調査から~

自治体の行政管理を研究しています。特に、自治体の意思決定手続と調整メカニズム、基本計画の策定と実施、人事管理、公共施設・公共空間の管理、公民連携等が研究テーマです。自治体行政学特論では、自治体行政に関する理論と現実の自治体行政の論点を講義します。自治体行政学演習では、自治体行政に関する古典的な研究から近年の研究動向を踏まえたうえで、自治体行政上の実践的課題等を議論します。



山本 薫子 (やまもと かほるこ)

准教授・博士(社会学)

- 都市インナーエリア
- 多文化社会
- 都市コミュニティ
- 都市社会学入門
- 市民社会論

E-mail: kahoruko@tmu.ac.jp

URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ya/872.html>



カナダの都市バンクーバーで居住環境の改善を求める住民団体

常に化する都市社会の中でも都心部に近接したインナーエリアは低所得層や外国人・移民の集住が見られ、貧困など多くの社会問題を抱えている一方で、新たな文化、ビジネスが生まれ、常に人々が行き交う場でもあります。私はそうした地域の変化が特に低所得層や外国人・移民の生活にどのような影響を及ぼすか、研究を行っています。「都市社会学入門」では都市社会を考えるための基礎を習得し、「市民社会論」では異なる背景を持った人々が暮らす都市社会での課題や実際の試みについて実践的に学びます。



和田 清美 (わだ きよみ)

教授・博士(社会学)

- 都市社会学
- コミュニティ論
- 都市問題と都市政策研究
- 比較都市・まちづくり論
- 都市コミュニティ特論
- 都市コミュニティ演習

E-mail: wada-kiyomi@tmu.ac.jp

URL: <http://www.urbanpolicy.tmu.ac.jp/wada.html>



2016年度演習での東京谷中・浅草のまち歩きの様子ーコミュニティ形成・まちづくり調査から

専門は、都市社会学・コミュニティ論です。とくに近年は、1970年代のコミュニティ形成・まちづくり運動の振り返りと、その連続性の視点から、現代日本の大都市および地方都市のコミュニティ形成・まちづくり活動と政策の検証を行っています。同時に、日本と台湾のコミュニティ形成・まちづくり活動の比較研究も進めています。

近年の主な修士・博士論文題目

※前身の都市システム科学域の修了者

修士論文

- 二段階避難を考慮した避難場所の空間圏域構成に関する研究
- 天空率の詳細分布と人の感覚に関する研究ー天空率算出システムの提案ー
- 東日本大震災からの商業復興における仮設商店街の果たす役割ー岩手県沿岸南部3市を対象としてー
- 米軍ハウスをめぐる社会環境の変遷と地域における役割の変化ー福生市・瑞穂町を中心にー

博士論文

- スマートシティの形成要件と実現方策に関する研究ースマートハウスと電気自動車に着目してー
- 地域におけるがん終末期患者の緩和ケアシステム構築とその支援に関する研究
- 東京区部における既存市街地の防災性能向上を目的とした細街路整備諸施策のあり方に関する研究
- 基礎自治体における景観と自治の再構築に関する実証的研究

修了生の主な進路

※前身の都市システム科学域の修了者

大学教員(首都大学東京、福島大学、日本女子大学、東京家政大学等) / 研究機関(電力中央研究所) / 国家公務員(国土交通省) / 地方公務員(東京都庁、渋谷区、世田谷区、新宿区、八王子市、町田市、横浜市、川崎市、さいたま市等) / 都市再生機構(UR) / 森トラスト / 大成建設 / 大林組 / 京王電鉄 / 東急電鉄 / JR 東日本 / 日本設計 / パシフィックコンサルタンツ / 国際航空 / 市浦都市開発建築コンサルタンツ / ミサワホーム / 大和ハウス工業 / 藤木工務店 / リビタ / 東京三菱UFJ 信託銀行 / イオンモール / リクルートジョブズ / 他



饗庭 伸 (あいば しん)

教授・博士(工学)

- 都市計画
- まちづくり
- ワークショップ手法
- 参加型デザイン実習
- 参加型ワークショップ特論

E-mail: aib@tmu.ac.jp
URL: <http://www.comp.tmu.ac.jp/shinaiba/frame2.htm>



都市空間を豊かにする実験をDIYで実際につくってみる「参加型デザイン実習」

都市計画とまちづくりの実践と理論について研究を行っています。近年の大きな主題は「都市をたたく」をキーワードとした人口減少社会における都市計画と、人々が都市の中で個別的に集まってつくる開放性を帯びた小さな場において、空間のデザインを議論し、それを実現する組織を整え、一つ一つの実現を支援する「ワークショップ」と総称される手法です。参加型ワークショップ特論ではその手法開発を、参加型デザイン実習ではその実験を行い、研究室では常に2-3の現場を並行させて実践的な研究を行っています。



朝日 ちさと (あさひ ちさと)

教授・博士(都市科学)

- 政策評価
- 費用便益分析
- 社会資本整備
- 都市環境経済学特論
- 都市環境経済学演習

E-mail: asahi@tmu.ac.jp
URL: <http://upc2107.com/>



データ分析を裏付ける現場の情報も大事にしています。

政策の効果に関する経済学的分析を行っています。持続可能な地域や環境を実現するためには、環境や安全(リスク)も含めて公共政策の効果分析・評価し、意思決定に反映させることが重要です。都市環境経済学特論では、経済的評価の基本である費用便益分析、さらに効率性を含め多面的な基準を扱う多基準分析の理論と手法について議論します。都市環境経済学演習では、実証分析を通して、政策の意思決定における評価の役割と課題について議論します。



市古 太郎 (いちこ たらう)

教授・博士(都市科学)

- 災害復興
- 都市防災計画
- 防災まちづくり
- 観光環境地図学
- 災害社会学

E-mail: ichiko-taro@tmu.ac.jp
URL: <http://disaster-research.cocolog-nifty.com/blog/>



災害応急仮設住宅の事前デザインワークショップ

国内外の大都市が抱える課題として、地震や台風といった自然災害に対する脆弱性があります。建物の耐震化や耐火化、避難空間整備、情報伝達・共有システムの構築といった事前対策に加え、大災害後の長期的な生活や住まいの回復についても対策が進められています。公共・民間を問わず、危機管理能力や災害対応力は、今後ますます社会で求められる力になっています。都市計画学と防災科学の知見を基に、災害復興の現場から学びつつ、安全安心な都市を創り、マネジメントしていく方法論を身につけていきたいと思います。



伊藤 史子 (いとう ふみこ)

教授・博士(工学)

- 都市・地域計画と評価
- 都市・地域解析
- 都市環境心理・行動分析
- 都市環境計画特論・同演習
- GIS特別演習

E-mail: itofumi@tmu.ac.jp
URL: <http://www.comp.tmu.ac.jp/fiweb/>



ニューラルネットワークモデルによる土地利用変化予測

都市環境を形づくっていくための計画立案や評価に有効な、数理的アプローチやGISを用いて研究しています。都市に集い、居住し、活躍する人々の心理や様々な行動は、都市の状態やその変化と、どのように関連するのだろうか？ここに着目すると、実際の都市の中から様々な研究課題が浮かび上がってきます。授業ではこれらの研究手法とそのコツを分かりやすく学びます。簡単な分析にも一緒に挑戦してみましよう。



大槻 茂実 (おおつき しげみ)

助教・博士(社会学)

- 多文化共生
- 地域・社会参加
- 社会調査法(量的・質的いずれをも含む)

E-mail: sohtsuki@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/a/336.html>



適切な社会調査による質の高い研究を目指します。

社会調査から得られたデータをもとに異質な人々の関係性を実証的に追究しています。より具体的には、日本人と外国人による「多文化共生」、出身や年齢などが異なる人々の「地域・社会参加」、学歴や職業的地位の異なる人々の関係性(「社会階層」)などの点について、実際の調査をもとにして得られた統計データや参与観察や聞き取り調査の内容を分析することで、単なる印象論ではない中身のある知見の導出を目指しています。



奥 真美 (おくまみ)

教授・修士(法学)

- 環境法
- 行政法
- 都市政策法務
- 都市政策法務演習
- 自治体環境行政法特論

E-mail: oku-mami@tmu.ac.jp
URL: <http://www008.upp.so-net.ne.jp/mamioku/>



諸外国との比較の視点、自治体や企業での実践を意識した環境法政策の研究をしています

環境マネジメントシステムと環境規制、気候変動対策に係る多様な政策手法、自治体における環境法政策、まちづくり・都市形成に係る法政策を主な研究テーマとしています。たとえば、都市政策法務演習では、政策展開過程で法が果たす役割、法的な手法とそれ以外の政策手法との組合せ(ポリシーミックス)による政策課題への対応の重要性について理解したうえで、まちづくりや都市形成においていかなる政策手法がどのように組み合わせられるなかで課題解決が目指されているのかを具体的な事例研究をもとに検討していきます。



金子 憲 (かねこ あきら)

准教授・修士(経済学)

- 財政学
- 地方財政
- 公共経済学
- 財政学特論
- 公共政策演習

E-mail: akaneko@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ka/398.html>



国や地方公共団体などの政策を分析します。

現在の我が国が直面している様々な政策課題に焦点をあてながら、国や地方公共団体などの公共部門が行う政策を、財政構造と関連させながら政策的観点から分析を行います。こうした政策分析を通して、財政の役割とその仕組みに関する理解を深めるとともに、政策論に必要な分析手法を重点的に修得することによって、今後の我が国の政治・経済・財政全般に関する幅広い視野と政策形成に資する能力を身に付けることを目標とします。



白石 賢 (しらいし けん)

教授・博士(法学)

- 法と経済学
- 経済刑法
- 行動経済学
- 企業犯罪研究
- 法と経済学特論
- 行動法と経済学演習

E-mail: shiraishi-ken@tmu.ac.jp
URL: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~shiraishi-ken/>



法制度設計により社会問題の解決を目指す

企業犯罪研究では、法と経済学に基づいた、企業の違法な経済活動の法規制のあり方を研究しています。法と経済学とは、法のあり方を経済学の視点から検討するものです。実際の政策決定の場においては、経済学・法学双方からのアプローチが必要なのは言うまでもありませんが、特に法制度設計におけるインセンティブの考え方は重要です。学生のみならずには、法学、経済学、そしてインセンティブの根本にある心理学の知識を駆使し、現実の社会問題を解決する望ましい法制度を設計してもらいたいと思います。



杉原 陽子 (すぎはら ようこ)

准教授・博士(保健学)

- 健康社会学
- 高齢者福祉
- 社会老年学
- 公衆衛生学
- 都市住民健康論特論・同演習

E-mail: sugihara@tmu.ac.jp
URL: <http://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/sa/12757.html>



高齢者や介護者への支援策を実証研究に基づき検討しています

「健康の社会的決定要因(社会経済状態、社会関係、地域環境など)」「ストレスと対処資源」「コミュニティエンパワメントと健康」について主に研究しています。現在取り組んでいる研究プロジェクトは、「介護政策と地域支援システムの評価」「プロダクティブ・エイジングとストレスマネジメント」「高齢者における社会経済状態による健康格差のメカニズム」等です。大学院の修士課程では、都市における個人や家族の生活と健康を改善するための理論、研究方法、実践について教えています。



玉川 英則 (たまがわ ひでのり)

教授・工学博士

- 都市・地域解析
- 都市・地域計画
- 都市の分析論と計画論の接点に関する研究
- 地理情報システム(GIS)による実証研究
- 都市空間解析特論・同演習

E-mail: htama@tmu.ac.jp
URL: <http://www.ues.tmu.ac.jp/cus/>



都市解析学の基礎理論やシミュレーションから応用的な話題まで

計量的・数理的手法で都市や地域を解析する研究を行っています。理論的考察、実証分析、シミュレーション等多多方面に及びますが、共通しているのは、都市や空間に内在する秩序やポテンシャルを読みとり、計画論との接点を探ろうというスタンスです。また、コンパクトシティや持続可能性などの今日的テーマも、そういった研究の延長としてアプローチするという姿勢で臨んでいます。主要な研究の解説については、左記のURLから、「教員紹介」→玉川の「教員HP」→「研究内容のポイント解説」とたどって見て下さい。